

注意事項

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【タイトル】

スノーウオーズ2

【作者名】

カゲロウデイズ 蜻蛉

【あらすじ】

「すげええええ!!」

上月は学校でいままでなかったものを見た!!

中学校のPC

「すげええええ!!」

おもわず叫んでしまった…

皆からの視線が……痛い…痛い…

「上月は子供だな(笑)」

阿月(あつき)が言ってきた

(大恥)……

こいつとは月っていう字があるからっていう関係はないけど…
小学校からの親友? でもある

「でも驚いたわ、学校にPCがあるなんて… なあ?」

「うん…うん」

高崎先生のかな?

そう思った瞬間、先生が教室の扉を滑るように開けた。

PCのことを話そうと思ったたら、先生が皆を呼び掛けた

「おい、皆よく聞けこのパソコンは学校80周年のプレゼントだ」

「へええええ」など「誰から??」「マジ?」とか皆が騒いだところで先

生が

「使ってもいいが壊したり・勝手に使わないこと! いいか!?

「ふあ〜い」

だらしない返事をした(笑)

「後で借りてみるか??」

阿月が聞いてきた

「うん…いいね!」

まあか... 11のせいで112な11な11は...